

● 令和2年度 交流会 第4回 『先天性代謝異常』 ●

講 師： 広島大学病院 小児科 香川 礼子 先生
実施日時： 令和2年11月25日（水） 14：00～15：00
会 場： 広島県三次庁舎（北部保健所）
対 象 者： 先天性代謝異常症の子どもの家族、支援関係者、
 関心のある方
参 加 者： 本人1名、保健師1名

担当：北部保健所

● 講演内容

- ① 新生児マススクリーニングについて
- ② 遺伝について 劣性・優性・連鎖劣性
- ③ ライソゾーム病、ファブリー病、その他の代謝異常について
- ④ 救急受診について

● アンケート結果より

<参加のきっかけ>

「最新情報を得るため、自分の勉強と知識を深めるため」

「担当地域に関わる子に、先天性代謝異常の子がいるため」

<参加された方の感想>

「先天性代謝異常の中にもたくさん種類があり、一度に理解するのはまだまだ知識不足だと感じた」

「AR、XLRのことを詳しく説明されて良かった」

「先天性代謝異常症の症状、治療等についても詳しく知ることができ、知識を深めることができた」

「リクエストのあった、ファブリー病やクレチン症についても丁寧に説明を頂けた」

「保健指導の際の保健所としても関わり方についてもアドバイスをくださり大変勉強になった。今後の業務にしっかりと活かしていきたい」

● 担当者より一言

北部保健所で先天性代謝異常の講演会を行いました。諸事情で私は参加できませんでしたが、保健所のスタッフの進行で参加者は少ないながらも有意義な講演会となったようでした。

北部での講演会以降の12月の講演交流会は新型コロナウイルスの影響でやむなく中止となり、リモートでの開催の必要性を痛感しました。来年度に向けて環境を整えていこうと思います。

